

## 前回協議会(R6.7.29)における意見概要と対応状況

意 見 概 要	対 応 状 況
<p><u>1 SAGA2024 国スポ全障スポ関連</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• SAGA2024 国スポ全障スポが開催され、波戸岬ではトライアスロンが開催される。</li> <li>• この近くを通るだけでなく、是非来ていただけるような企画を考えてほしい。</li> </ul> <p><u>2 紙媒体による広報</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 名護屋歴史講座に参加してみると、参加メンバーには、インターネットに遠いかなという方々も多い。</li> <li>• 県立施設では、目にするチャンスもあるが、特に市町の博物館・図書館では見たことがなく、もったいないと思う。</li> <li>• ネットや SNS による広報が話題になることが多い中、ちょっと逆行するかもしれないが、紙媒体による広報も引き続きお願いしたい。</li> </ul>	<p><u>1 SAGA2024 国スポ全障スポ関連</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 同大会が開催された令和 6 年 10 月には、博物館周辺では、トライアスロン競技のほか、鎮西スポーツセンターにおいて障害者バスケットボールが開催されました。</li> <li>• この期間の前後、当館においては、企画展「黄金と草庵 一秀吉の茶室に挑む」を開催しています。</li> <li>• このほか、県文化課が取り組む人気ゲームとのコラボした SAGA-TOCO スタンプラリーについては、実施期間を 11 月まで延長され、また、夏休み期間から 9 月末までの間ですが、県観光協会のドライブスタンプラリーに当館もエントリーする等したところです。</li> <li>• なお、国スポ・全障スポ大会の開催に関しては、当館も県の所属として、大会運営の要員として、佐賀市や近隣の会場のほか、県外選手団の引率等に職員を派遣する等して、大会運営に協力をしたところです。</li> </ul> <p><u>2 紙媒体による広報</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 当館をはじめ、県立美術館・博物館、佐賀城本丸歴史館、九州陶磁文化館の 4 つの県立博物館施設については、県文化課の調整により、統一的なデザインで年間スケジュールを作成しています。</li> <li>• 当館では、行楽シーズンであるゴールデンウィーク前を目安に、年間スケジュールや各種チラシ等を郵送等により配布しています。</li> <li>• 令和 7 年度 4～5 月には、 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 県内文化施設 87 箇所</li> <li>* 県内旅館・飲食店等の観光施設 169 箇所を含む関係者・団体へ、合計約 16,000 部の年間スケジュールを配布しています。</li> </ul> </li> <li>• ネットや SNS については、スマートフォンで手軽に検索できることから、特定の情報が欲しい方には非常に便利な反面、例えば、名護屋歴史講座を知らない方にも知ってもらうという場合には、ご指摘のとおり、身近な市町役場や文化施設の窓口などで、チラシを目にする機会も一定の効果があると思いますので、引き続き、紙媒体での普及活動にも取り組んでまいります。</li> </ul>

### 3 学校教育との連携について

- 地元唐津市や名護屋周辺の小中学生については、例えば、社会見学みたいな形で学習に来ているか。県下学校教育との連携について、何か実践されているのか。
- 博物館で展示を見て、実際に名護屋城跡も歩いてもらって、というのが大事。
- 小中学校にどんどん来ていただき、何らかのきっかけ、次の世代につながるきっかけを提供できるような場であってほしい。

### 3 学校教育との連携について

- 学校教育との連携事業としては、唐津青翔高校との共同授業「日韓交流史」、名護屋小学校と連携した授業「名護屋タイム」や「韓国文化学習」に取り組んでいます。
- また、R5 年度には、小中高校生を対象に、本郷和人先生（東京大学史料編纂所）による特別授業を開催して、実際に古文書に触れるといった貴重な体験の場を提供することができました。
- このほか、テーマ展の折には、博物館に来ていただくきっかけとなるよう、小中学生にも楽しんでもらえる楽器体験や工作体験などのワークショップを開催する等しているところです。
- 修学旅行や社会科見学の斡旋や誘致には至っていませんが、周辺施設（少年自然の家、玄海エネルギーパークなど）の状況も情報収集する等して、引き続き、小中学生に来館してもらえるような企画の検討に取り組みたいと思います。